

**1 委員の皆様からコンテスト終了後の感想をいただきました。**

委員の皆様からコンテストを終えて、応募作品や委員をつとめた感想をいただきました。

今回は実行委員長、審査委員長2名のコメントをご紹介します。

**▼実行委員長 青野 慶久（サイボウズ株式会社 代表取締役社長）**

今回、経済産業省からCSAJに運営が移り、コンテストが継続できるか不安でしたが、たくさんの応募をありがとうございました。

優れたユーティリティ、新しいエンターテイメントの形、社会を守るセキュリティ、未来のEC、リッチなプログラミング環境など、レベルの高い作品の数々を見て、これから若い人たちのプログラミングが世界を変えていくことを確信しました。

また新しい作品を見せてくれることを楽しみにしております。

そして、世界をより良いものに！

**▼審査委員長 小泉 カー（尚美学園大学 芸術情報学部 情報表現学科 教授）**

今年度は、「プロコン」として35回目の記念すべき年でした。今年度から実施体制が変更になり、多くの企業様にスポンサーとしてバックアップしていただき、青野慶久実行委員長をはじめとした実行委員のみなさまにはたいへんお世話になりました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

今年度は応募作品数が221件と昨年度の倍以上となり、「U-20」から「U-22」に変更された影響と思われます。実際、受賞された方の中には、かつてのプロコンで受賞し、年齢制限が上がったことで再チャレンジされた方が複数おられました。また、年齢層も、小学校5年生から大学4年生までと幅広いものでした。

最終審査に臨んで、これまでのプロコンに応募された作品と比べて、一段とレベルが上がったという印象を受けています。応募総数に比した受賞数の倍率も10倍以上になっていて、いずれの作品も、アイデア、完成度、ユーザビリティ、実用度などにおいて、甲乙つけがたいものばかりでした。作品それぞれに独特のコンセプトがあり、一概に比較することはできません。特に、最終審査における作者によるプレゼンテーションにおいて、制作の動機や苦労話を聞くにつけ、この作品の価値をあらためて認識した思いです。

政府が本年6月に閣議決定した「世界最先端IT国家創造宣言」には、「初等・中等教育段階でのプログラミング、情報セキュリティ等のIT教育を充実させ」とあり、今後、わが国に若いIT人材が多数育成されることが示唆されています。来年度以降も、今年度に勝るとも劣らぬ作品が応募されることを期待してやみません。

※すべての委員のコメントは公式Webサイトでご確認いただけます。

<http://www.u22procon.com/comment.html>

**2 公式Webサイトで最終審査会の結果を発表しております**

全応募221作品のうち、9月17日の一次審査会で入選20作品が決定し、10月5日に開催された最終審査会で、各賞が決定致しました。

公式Webサイトで各賞の決定の様子および概要が公開されてますので是非ご覧ください。

<http://www.u22procon.com/index.html>

**3 メディア掲載情報**

U-22プログラミング・コンテストの最終審査会を終え、メディアに複数掲載されましたのでお知らせ致します。

・ASCII.jpデジタル（2014年10月7日）  
小5女子も入賞!! - U-22プログラミング・コンテスト結果発表  
<http://ascii.jp/elem/000/000/941/941060/>

・マイナビニュース（2014年10月7日）  
U-22プログラミング・コンテストの受賞者が決定  
<http://news.mynavi.jp/news/2014/10/07/141/>

・朝日新聞デジタル（2014年10月18日）  
一人エグザイルでノリノリ 学生考案カラオケ機能  
<http://www.asahi.com/articles/ASGBB4KOPGBBONFB009.html>

**事務局のつぶやき**

先日、CEATEC JAPAN 2014会場内で、U-22プログラミング・コンテスト入選者の展示パネルを見て来ました。

場所的には、CSAJブースの裏側で、一見気づきにくい場所かと思ったのですが、ホール3（トヨタや、東芝、パイオニア等、自動車や家電等が多く展示されている所）から通路を挟んだ反対側のホール4の入口付近で、今回のメインテーマに赤を使っていることもあり、見栄えとしてもなかなかよく、「あれ？なんだろう？」と、コンテストを知らない一般の方たちも立ち止まって見ている印象が強かったです。

パネルを見ているとあの時プレゼンをしていた入選者一人一人の顔が浮かび、とても感慨深いもので、思わず顔がほころんでしまいました。

※審査会終了後も、U-22プロコンメルマガは引き続き最新情報をお届けします。

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

U-22プログラミング・コンテスト運営事務局  
〒107-00 東京都港区赤坂1-3-6 赤坂グレースビル4F  
TEL : 03-6435-5991 FAX : 03-3560-8441 E-mail : u22-info@csaj.jp  
公式Webサイト <http://www.u22procon.com/>

.....